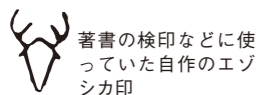




更科源蔵(さらしなげんぞう)
●1904(明治37)年、弟子屈町熊牛原野南弟子屈に生まれ、1985(昭和60)年に81歳で逝去。東京麻布獣医学校を中退した後、尾崎喜八、高村光太郎に師事し、詩作を中心に郷土史、アイヌ文化研究など主に文学活動を続けた。▶弟子屈町で所蔵しているさまざまな資料を紹介する。



1954年 屈斜路コタンで行われたイヨマンテでアイヌ民族衣装を着た更科



1954年 屈斜路コタンのエベレ・セツの前で(左が更科)



『熊祭 IOMANTE』挿書房刊

北方文化写真シリーズ・I 『熊祭 IOMANTE』

イヨマンテ(イオマンテとも)は、アイヌ語で「それ送る」という意味で、「それが指すものによって送るものが異なります。シマフクロウ(コタンコロカムイ)は集落を守る神様であることから、翁たちが厳格に「コタンコロカムイ・イヨマンテ」を行います。熊(キムン・カムイ)は、コタンの人たちに肉や毛皮を持ってきてくれる神様として「キムンカムイ・イヨマンテ」を、コタンの人たちが近隣の人たちも招き、盛大に行います。


アイヌの人たちは熊のことを「神(カムイ)」「山の神(キムン・カムイ)」などと言い、人間たちが住む世界に肉や毛皮を持って遊びに来てくれる神様としています。山で獲った熊はもちろん丁寧に霊送りをしますが「イヨマンテ」をするのは、生け捕りにして1年あまりエベレ・セツ(神の宮座)で大切に飼育した当歳(数え年で1歳)か、明けて2歳の子熊です。

キムン・カムイ・イヨマンテは、神様が再びコタンを訪れてくれるように、最大級の祭壇で、食べ物やお酒、歌や踊り、そしてたくさんのお

土産を持たせて神様たちのもとへ送る儀式です。イヨマンテは3日間行われ、準備も数週間前から行われます。

更科は、1951(昭和26)年に常呂町で行われたイヨマンテに参加し、記録映画「熊祭」のシナリオを担当します。1954(昭和29)年に弟子屈町屈斜路コタンで行われたイヨマンテでは、イタリア人・マライーニの映画「熊祭」の撮影に協力します。「熊祭 IOMANTE」は、これらのイヨマンテを冊子にしたもので、収められている写真は楡金幸三が撮影したものです。

1951年の記録映画「熊祭」は、動物虐待の映画であるとの理由で公開はされなかったそうです。更科は「農耕民族が春にその年の豊作を祈願する春祭と基本的に同じものであり、決して熊を殺して神の犠牲に捧げるものではなく、何度も何度も来てもらう為にも仔熊の親類友人に当たる神々に人間界のよさを吹聴してもらって、それらの神々に来てもらう為にも最大の歓待をつくして送るのである」と同書で説明しています。



図書館だより

中央2丁目4番1号
☎(よいほんいろいろ) 482-1616

☆「おはなしはらっぱスペシャル」があるよ!

こちらも読書週間に合わせて、今年も読書週間を開催します。絵本の読み聞かせのほか、イベントを予定しています。たくさんのお参加をお待ちしています!

▼日時/5月10(日) 13時~14時
▼場所/図書館絵本コーナー

☆4月23日~5月12日は「第56回 こども読書週間」

「おはなしはらっぱスペシャル」

「おはなしはらっぱスペシャル」

「おはなしはらっぱスペシャル」

新刊案内

「ぼくの守る星」 神田 茜/著

「大人の流儀4・許す力」 伊集院 静/著

「ゼロから始める神社と祭り入門」 三橋 健/監修

「ゼロから始めるお寺と仏像入門」 廣澤隆之/監修

「コモンズ地域からの再生と創造」 小磯 修二/著

「新・女性のための運動術」 徳大寺有恒/著

「定年男のための老前整理」 坂岡 洋子/著

「みんなで楽しむ絵かきうた」 宮地 明子/著

「絵本・旅猫レポート」 有川 浩/文

「おんなじおんなじおんなじね」 荻田 澄子/作

「デジタルデトックスのすすめ」 米田 智彦/著

スマホやSNSなしで何日過ごせますか? 【寝る前のスマホを「あと数分だけ」で、やめられなかったことは一度や二度ではない】 【FacebookやLINEが原因で、人間関係がこじれてしまった】 心当たりのある人には「デトックス=解毒」が必要です!!

おすすめの新刊

自然ふれあい行事 参加者を募集中!

指定80周年を迎える阿寒国立公園の自然環境を、あらためて実感していただくための行事を開催します。今回のテーマは「鳥」。屈斜路湖畔で身近な野鳥を探すコツや、観察の仕方などをお伝えします。

▶期日/5月11(日)
▶時間/9時~正午(予定)
▶場所/和琴半島駐車場
▶講師/黒沢信道氏(日本野鳥の会会員)
▶定員/15人(先着順)
▶参加料/300円(保険代)
※荒天の場合は、野外観察に代わり室内講習を行います。
※申し込み・問い合わせは、電話で受け付けます。ホームページもご覧ください。

前回の探鳥会の様子

EMC通信

~川湯の森から~

新たな情報発信として、ホームページをリニューアルしました。最新の自然情報や地域情報を発信しているブログ

ホームページを一新しました!

周・屈斜路川湯地域の詳しく、恒久的な情報の提供ができていませんでした。今回、地図による訪問地のイメージのほか、フォトギャラリーや各地までのアクセス方法などを加え、初めて訪れる方も分かりやすいように配慮しました。説明文も、スタッフがこだわりの持ちで作成しました。

もちろん、各地に出かける前にEMCへ立ち寄っていただけたら、最新の情報をお伝えします。ホームページを見るだけでは分からない、さらに細かい情報を入手してからスタートすると、阿寒国立公園の魅力をより楽しめると思います。ブログによる最新情報の発信も引き続き行っていきますので、装いの生まれ変わったホームページと合わせて、ぜひ、ご利用いただけたらうれしいです。

川湯エコミュージアムセンター(EMC) ☎483-4100
URL http://www6.marimo.or.jp/k_emc/ 5月は8:00~17:00開館(無休)